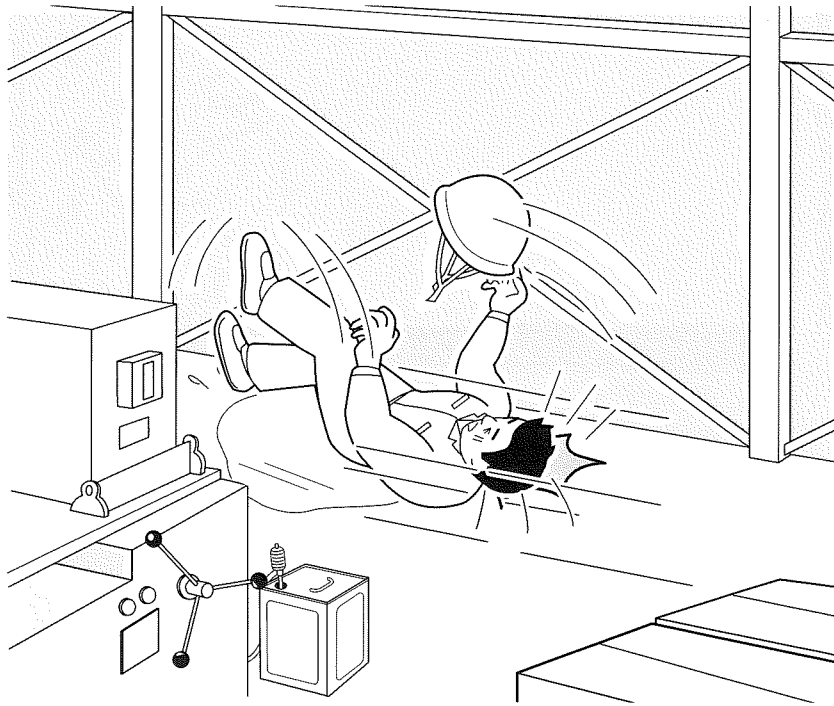


朝礼場に急いで向かっていて転倒・重傷

遅刻して出勤、近道の通路に障害物



《災害のあらまし》 作業者（男性21歳・勤続2年）は、職場の朝礼に遅れそうになったため、規定の通路を通らず作業場を横切つて朝礼場所に走つて向かつていた際に、床の水たまりで滑つて転倒して後頭部を強打し、後日、硬膜下血腫で入院・手術の治療を受けました。

《災害の主な原因》

- ① 車で出勤途中、他の車のトラブルに巻き込まれて始業の朝礼に遅刻しそうになったので、近道をして作業場の通路を通つたこと。
- ② 近道の通路が滑りやすい状態だったにもかかわらず、そこを走つたこと。
- ③ 保護帽（ヘルメット）をかぶらず、手に持っていたこと。
- ④ 頭を強打した後、病院に行くなどの適切な措置が実施されなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 車での出勤は、トラブル等を想定して時間に余裕を持って安全運転を励行する。
- ② 職場内では規定の通路等を通り、特別のことがない限り走ら（せ）ない。
- ③ 頭部を強打したときは、打撲箇所を冷却しながら病院で検査や治療を受ける。
- ④ 日常の行動において、この事例のような「近道行為」（不安全行動）を行わないよう、注意・忠告し合うなどして徹底を図る。
- ⑤ 現場に出るときは（身だしなみとしても）保護帽をきちんと装着する、など。

溶断の火花で階下の断熱材が発火して中毒

養生が不完全、業者間の連絡・調整が不足



《災害のあらまし》工場の増築工事現場で、2階のサッシ枠の取付け業者が、窓枠の鉄筋をアーク溶接していたところ、溶断の火花が2階床と壁の隙間（約1cm）から1階に落下し、1階で工事中の断熱材（発泡ウレタン）の壁が燃えて、有害な煙を吸入するなどして3名が中毒で倒れ、病院に収容されました。

《災害の主な原因》

- ①階上で溶断を行っていた業者が実施した防災シート等での養生が不完全だったこと。
- ②上階のガス溶断作業の危険性を予知せず、断熱材の吹き付け作業を行ったこと。
- ③火災で断熱材の有害なガスが発生しているにもかかわらず、無警戒・無防備で消火作業を行ったこと。
- ④工事業者間及び作業業者間の作業連絡・調整が不徹底だったこと、など。

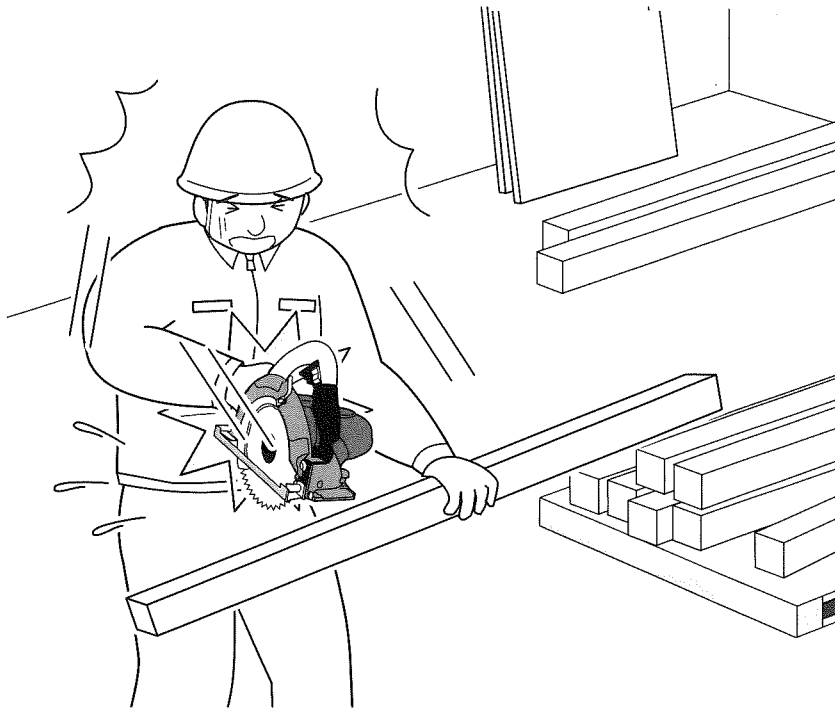
《同種災害の防止対策例》

- ①元方事業者等は、作業間の連絡調整、作業場所の巡視、工程計画の作成等に関する統括安全衛生管理を確実に行う。
- ②易燃性の物などが存在して火災・爆発等のおそれがある場所で、溶接・溶断等の作業を行うときは、防火管理・着火防止措置を厳重に行う。
- ③工事現場では火災等の緊急事態の発生を予測して規定を定め、徹底を図る、など。

事故・災害事例から

携帯用丸ノコ盤で腹部を切創して重傷

安全カバーが不良、作業方法も不適



《災害のあらまし》携帯用丸ノコ盤を使用して梱包廃材(長さ1・2m、縦横5cm)を切断する際、丸ノコ盤と角材を持って切断していたところ、丸ノコ盤が反発し、はずみでノコ盤の歯が作業者(男性30歳・勤続10年)の体に当たって腹部を切創し、休業1カ月の重傷を負いました。

《災害の主な原因》

- ①当該丸ノコ盤は、安全カバー(接触予防装置)の金具が変形してカバーが正常に作動せず、歯が剥き出しの状態であったこと。
- ②安全カバーが不良の電動工具が、そのまま長期間にわたって使われていたこと。
- ③丸ノコ盤と角材を手にとって、不安定な状態で作業したこと。

- ④被災者等に対して、これまで丸ノコ盤の安全な取り扱い等についての指導や安全教育を實施していなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ①携帯用丸ノコ盤等の工具は、安全カバー等の装置が正常に作動するように点検し、整備しておく。
- ②携帯用丸ノコ盤を使用する際は、角材等の切断する材料を固定した上で、丸ノコ盤をしっかり保持して使用する。
- ③監督者等は、作業を指示する際は安全な作業方法を具体的に示し、さらに、作業者の経験や能力に応じた安全指導・教育を行う、など。

労災・事故速報

(最近の新聞等から)

- ・足場を組む作業中に感電して死亡。4月27日午後、広島県広島市で、ビルの解体作業のため足場を組む作業をしていた20代男性作業員が、高さ14mの足場の上で近くの電線に触れて感電し死亡。(中国放送)
- ・発電所で清掃中に転落して死亡。4月25日午後、三重県四日市市の石油会社の発電所で、男性作業員2人(40代・30代)がボイラー内部を清掃中、足場が崩れて高さ約20mから転落し、死亡。(共同通信)
- ・フォークリフトが横転、下敷きで死亡。4月23日正午前、兵庫県加西市の運送会社敷地内で、フォークリフトのフォーク部分が天井に接触して横転。運転していた30代男性作業員が投げ出されて下敷きになり死亡。(神戸新聞)
- ・集合住宅の足場解体中に転落して重傷。4月22日午前、兵庫県神戸市の10階建て集合住宅で、30代男性作業員が外壁工事足場の7階部分から約4.9m下の3階部分まで転落して重傷。(神戸新聞)
- ・田起こし準備中トラクターが横転、死亡。4月21日午後、岐阜県高山市の水田で、田起こしの準備作業をしていた50代男性作業員が、のり面の農機具搬送路から運転していたトラクターごと横転し、下敷きになって死亡(岐阜新聞)
- ・ビール原料に生き埋めになり死亡。4月20日午前、茨城県取手市のビール工場で、ビール原料を保管するサイロの詰まりを直していた20代男性作業員がサイロ内に転落し、生き埋めになって死亡。(茨城新聞)
- ・ゴルフ場でトラクターの下敷きになり死亡。4月19日午前、愛知県新城市のゴルフ場で、トラクターを運転して、コース整備で刈った芝の清掃作業をしていた20代男性作業員が、横転したトラクターの下敷きになり死亡。(中国新聞)
- ・伐採作業中に木の下敷きになり死亡。4月18日午後、長野県飯田市の雑木林で、木の伐採作業をしていた80代農業男性が、木の下敷きになり死亡。(中日新聞)
- ・ハンゴから転落して死亡。4月17日午前、三重県四日市市の製茶工場で、工場からの依頼でベルトコンベヤーのベルトの付け替え作業をしていた50代男性作業員が、ハンゴに上って作業中に約4mの高さから転落し死亡。(伊勢新聞)
- ・ビルの足場で倒れた後、転落して死亡。4月16日午後、群馬県高崎市のビル外壁工事現場で、外壁の塗装作業をしていた50代男性作業員が足場の上で倒れ、その後、胸を押さえながら約7.6m下の地面に転落して死亡。(上毛新聞)
- ・倒れたミニショベルカーの下敷きで死亡。4月13日午後、神奈川県横浜市の路上で、クレーン付きトラックに積み込み中のミニショベルカーが仰向けに倒れ、積み込み作業をしていた70代造園業男性が下敷きになり死亡。(神奈川新聞)
- ・貨物船から海中に転落して死亡。4月13日午前、神奈川県の横浜港瑞穂埠頭東側の海域を航行中の貨物船から、40代男性の機関長が海中に転落して死亡。(産経新聞)
- ・ゴルフ場で作業車から落下し死亡。4月12日午後、神奈川県松田町のゴルフコースで、カート道路を走行中の作業車(刈った芝を吹き飛ばすブローア車)が転倒し、運転していた20代男性作業員が落下して死亡。(神奈川新聞)
- ・汚水処理船のタンク内で作業員2人が死亡。4月9日午後、長崎県佐世保市の米海軍基地内で、接岸中の汚水処理船で作業中の日本人2人がタンク内に落下し意識不明、のちに死亡。タンク内で硫化水素が検出。(産経新聞)
- ・スレート屋根の補修中に転落、重体。4月6日午前、島根県出雲市の鋳物製造工場で、屋根の補修作業をしていた40代男性作業員が、スレート屋根を踏み抜いて高さ約10m下のコンクリート床に転落して意識不明の重体。(山陰中央新報)
- ・牛舎で機械に巻き込まれ死亡。4月6日午前、北海道札幌市の牧場の牛舎で、作業員が牛に餌をやる機械に巻き込まれて死亡。遺体の損傷が激しく身元の特定が困難。(毎日新聞)
- ・建物解体中、杭にぶつかり死亡。4月5日午前、茨城県稲敷市で、建物の解体工事をしてきた20~30代の男性作業員が、クレーンで吊り上げた際に折れた鉄筋コンクリート製の杭にぶつかり死亡。(茨城新聞)
- ・積み込み中の丸太が落下、下敷きになり死亡。4月5日午後、鹿児島県屋久島町の山中で、伐採したスギをトラックに積込む作業をしていた60代男性作業員が、重機から落下した丸太の下敷きになり死亡。(南日本新聞)
- ・荷物用エレベーターに挟まれアルバイト女性が死亡。4月5日午前、鹿児島県鹿屋市の食品会社倉庫で、梱包用資材を荷物用エレベーターで1階に降ろす作業中の70代アルバイト女性が、エレベーターと床に挟まれ死亡。(南日本新聞)
- ・地下鉄変電所で感電事故、停電で運転見合わせ。4月3日午後、東京都中野区の東京メトロの変電所でケーブル切り替え中の作業員が感電する事故が発生、丸の内線と銀座線が停電で約3時間運転停止で約5万1千人に影響。(産経新聞)
- ・鉄骨積み込み中に挟まれて死亡。4月2日午前、栃木県那須塩原市の鉄工会社の工場内で、大型トレーラーの荷台に鉄骨(重さ約1t)を積み込む作業をした50代男性作業員が、荷台から崩れた鉄骨と地面に挟まれて死亡。(下野新聞)
- ・操業中の漁船で乗組員が重傷。4月2日未明、島根県松江市沖の日本海で、操業中の漁船の乗組員が、着用していたカッパが回転するローラーの網に引っかかり、右腕を巻き込まれて骨折の重傷。(山陰中央新報)
- ・寺の境内で木の伐採中に転落、重体。4月1日午後、新潟県燕市の寺の境内で、簡易的な足場の上で木の伐採をしていた80代男性作業員が、約3.5mの高さから転落して重体。(新潟日報)
- ・ミカン畑で耕運機ごと転落して死亡。3月28日、愛知県蒲郡市のミカン畑で、段状の畑で作業中の50代男性が、使っていた耕運機ごと約1.4~1.8m下に転落して死亡。(中日新聞)